

アシストネットだより

2020（令和2年）9,25
栃木市立
栃木第四小学校

地域とともにある学校教育を 共に、よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創りましょう。

令和2年度は折り返しの9月が下旬となりました。新型コロナウイルス感染症への対応が続いています。そんな中、今年度も、保護者の皆様や地域の方々には、学校教育に御支援、御協力くださり、ありがとうございます。

本校では、開かれた学校づくりを目指し、家庭、地域との連携を密にし、「コミュニティスクール」の推進に努めることを学校経営方針の1つとしています。また、新学習指導要領の柱の一つに、「社会に開かれた教育課程」があります。よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創るという目標を学校と社会が共有し、教育を地域（社会）とつなげて行っていこうというものです。地域と連携しながら児童の教育を行っていくことが求められています。コロナ禍で様々な制約がありますが、できる範囲で、地域の方々と共に、子供たちの教育を行っていきたいと考えています。地域の方々や地域から学ぶ、地域の方々を育てる、そんな教育を行っていきたいと思っています。

とちぎ未来アシストネット

学校・家庭・地域

の連携・協力を組織的に発展させ、より効果的に「学校支援（教育の充実）」や「地域の絆づくり」等を図る教育システム（平成24年度より導入）

地域の皆さんと共に教育を行っていくための栃木市の推し進める仕組みが、「とちぎ未来アシストネット」です。

～私たちが目指す学校教育～

本校の学校教育目標

元気な子 本気で学習する子 根気強い子 心の豊かな子

目指す子ども像

☆よく考えてやりとげる子ども

自ら学ぶ意欲をもち、自ら課題を見つけ考え、学んだことを生かして、よく考え判断し、表現できる子どもを育てる。

☆心豊かで思いやりのある子ども

自らの感じ方、考え方を大切に伸ばすとともに、思いやりの心をもち、正しい行いができる子どもを育てる。

☆じょうぶでたくましい子ども

運動に親しみ、健康でねばり強い子どもを育てる。

育てる資質・能力

生きて働く「知識・技能」

未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」

学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」

問題発見・解決力 コミュニケーション力

地域や社会を理解し、地域創生等に生かす力 など

※授業では、これらを目指し、活動・学習を展開します。